施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織 デジタ	タル推進課 職	課長	氏名 山本 洸大
評価者	組織	職		氏名

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現\ (年度)	犬値 (年度)	評価
	デジタル技術の利活用による行政事 務の効率化・県民サービスの向上	電子申請件数	件	19,000 (R6)	21,089 (R2)	(R3)	

	施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現》 (年度)	₹値 (年度)	事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性
施策2	課題1 情報システムの利活用の推進	電子申請件数	件	19,000 (R6)	21,089 (R2)	(R3)	行政手続オンライン化推進費	県民	12,355			
		ウェブ会議を実施した件数	件	R2年度比增 (R3)	424 (R2)	(R3)	Web会議推進費	職員	11,000			
		テレワークシステム実施体制	_	2班体制実施可能 (R3)	- (R2)	(R3)	テレワークシステム導入費	職員	21,000			

事務事業シート(行政経営Cシート)

 事務事業名
 行政手続オンライン化推進費
 事業開始年度
 R3
 事業終了予定年度
 作 組 織 成 職・氏名 で計画等

作 組 織 デジタル推進課 成 職・氏名 主任主事 中越 健太 者 電話番号 076 - 225 - 1321 内線 3654

事業の背景・目的

行政手続のオンライン化ワンストップ化の取り組みを加速するため、行政手続のオンライン化を推進する。

事業の概要

行政手続を電子申請化していくために、汎用電子申請システムの機能強化および、各所属の手続を電子申請化するうえでの支援等を実施していく。

- ① 汎用電子申請システムの機能を強化し、利用者の利便性の向上を図る。
- ② 行政手続の電子申請化研修を充実し、各行政手続所管課が研修を通じて様式作成、事務手順作成等を実施する。
- ③ 県施設、イベント等において電子申請手続の普及啓発を行う。
- ・デジタル機器に不慣れな方(高齢者・障がい者等)に配慮し、各手続の申請利用状況、国や自治体の動向も踏まえ、オンライン化を推進していく。

		施策·課題	の状況		
施策			効率化・県民サービス	の向上評価	
課題	情報システム		生進		
指標	電子申請件数			単位	件
19.000	平成29年度	平成30年度 14,316	現状値 令和元年度 16,204	令和2年度 21,089	令和3年度
電子申請件数	ζ				
R2年度 R6年度(目標		21,089件 19,000件			
		事業			
(単位:千円) 事業費 決算 一般 予算	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	12,355
一般 予算 財源 決算					12,355
事業費累計		0	0	0	12,355
項目	評価	評信	□ ⊑記の評価の	· →m . [.	
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)					
今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事業終了予定年度 事業開始年度 織 デジタル推進課 事務事業名 Web会議推進費 根拠法令 成職・氏名 主任技師 行政経営プログラム2020 •計画等

土井 祐貴 者 電話番号 076 225 - 1322 内線 3656

事業の背景・目的

Web会議は、人と人との接触を回避できることから、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図っていく上でも 効果的であるとともに、会議参加者の負担の軽減や、経費の削減のほか、会議参加者の移動が不要になる、 などのメリットがあると考えている。

県では、行政経営プログラム2020において、Web会議による会議の効率化を図ることとしていることを踏ま え、R3年度よりWeb会議環境の整備を進めている。

事業の概要

- 1 事業の内容
- (1)Web会議用専用機器の整備 R3年度~
 - ・本庁内の各部及び主要出先機関にWeb会議用専用機材セットを1セットずつ整備
- (2)Wi-Fi環境の整備
- ・本庁舎のすべての共用会議室等及び出先機関にWiFi環境を整備

			施策•課題	国の保温			
施策	デジタル	技術の利活		☆~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	スの向上	評価	
課題	情報	システム	の利活用の排			4 1 1124	
指標	ウェフ	ブ会議を	・実施した件数	女		単位	件
目標値				現状値			
令和3年度	平成	29年度	平成30年度	現状値 令和元年度	令和2	年度	令和3年度
R2年度比增	<u> </u>					424	
		00 Fr F	1.71	費	. A	for the I	A T . O F
(単位:千円)	半成	29年度	平成30年度	令和元年度	今和2	年度	令和3年度 11,000
事業費 予算 決算 一般 予算							11,000
一般 予算							11,000
財源 決算							11,000
事業費累計			0	0		0	11,000
7 /15/25/15/1			評价		_		
項目	評価			生記の評価の	の理由		
事業の有効性							
事業の有効性							
(費用対効果							
(費用対効果 の観点も含							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役							
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 一会後の方向性							
(費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 今後の方向性(県急性、大方のあり方のを踏まえ、今後のありを踏まえ、今後のありを踏まえ、今後のありため							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等							

事務事業シート(行政経営Cシート)

 事務事業名
 テレワークシステム導入費
 事業開始年度
 R2
 事業終了予定年度

 根拠法令
 ・計画等

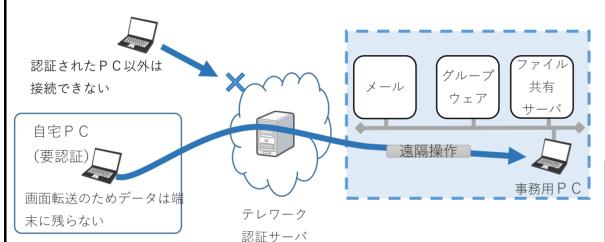
作 組 織 デジタル推進課 成 職・氏名 主事 平島 崇誠 者 電話番号 076 - 225 - 1322 内線 3655

事業の背景・目的

県庁の行政機能を維持し、県民サービスの低下を招くことなく、職員の円滑な業務遂行につながるよう、在宅 勤務時において自宅パソコンから庁内の業務システムが利用可能となるテレワークシステムが必要となる。

事業の概要

- ・専用アプリ型のテレワークシステムを構築することにより、自宅のPCからアプリを通じ、業務を行うことが可能となる。
- ・職員にアカウントを割り当て、専用アプリからログインして行う。



(クラウド)

			施策·課題						
74 C 7 1 4	E			効率化・県民サービス	の向上評価				
課題	情報	システム	の利活用の打			-			
指標	テレ!	フークシ	ステム実施体		単位	-			
目標値			100 <u>0001</u> 0001000000	現状値 令和元年度	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	րուսայուսու <u>ս</u> ուսուսուրուսուսուրուսու			
令和3年度	平成	29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
2班体制実施可能					_				
				ж.					
(以及 不用)	112 - N	00 F F	事業		A THORET	人和女子			
(単位:千円)	半成	29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
事業費 予算 決算 一般 予質						21,000			
次 東						01 000			
//X J //Y						21,000			
財源 決算 事業費累計									
▲ 事業費累計			0	0	0	21,000			
評価									
			評价	Щ					
	評価		評价						
	評価		評价	Щ					
	評価		評价	Щ					
項目	評価		評价	Щ					
事業の有効性	評価		評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果	評価		評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか)			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニー 県関			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も書が 課題解決に 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、 りあり方等			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果の観点事にの の、この事にの 、この事にの 、この事にの 、この事にの 、この方に 、この方に 、質に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、この方に 、このありた。 、このありた。 、このありた。 、このありた。 、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このありた。 、一、このもので、 、一、このものもので、 、一、このものものものものものものものものものものものものものものものものものものも			評价	Щ					
項目 事業の有効性 (費用対効果 の観点も書が 課題解決に 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、 りあり方等			評价	Щ					